

テーマ「疑わない」

なぜ、疑うと不幸になるか。その結果を考えるとよく分かる。疑って生まれるものは、相手への不信であり、やがて相手からの愛や信頼も失う。

疑ってそのことが事実であれば、自分の相手への愛を失い、事実でないことを疑えば、相手から自分への愛を失う。疑いはどちらにしても愛を失うという結果しか生まない。だから、疑いの心は人を不幸にするのである。

その反対に信じる心は、互いの結びつきを強め、互いの信頼や愛を強める。猜疑心は人の心を最も醜くし、信じる心は人の心を最も美しくするのである。2500年前に疑うことを戒めたお釈迦様は、疑いは人の心を乱すこと、不幸しか生まないことをだれよりも知っていたのである。

例え、夫婦であっても相手の携帯電話を見ることは、パンドラの箱を開けてしまうことになる。その箱を開けると、猜疑心や不信感、嫉妬心が煙のように出てくる。その煙は間違いなく自らの心を汚染し醜くする。愛とは信じることであり、信じることが愛である。